



# 虹の架け橋

平成30年9月14日  
印西市立西の原小学校  
校長室便り No. 11

## 子どもたちの日常から

### あいさつ

朝、校門の前に立っていると、元気に挨拶をしてくれる子がいます。また、こちらから声をかけると、しっかりと挨拶を返してくれる子、頭を下げて応えてくれる子、小さな声で挨拶を返してくれる子、黙って通り過ぎて行ってしまう子といろいろな子がいます。2学期になってから、そんな子どもたちに変化を感じるようになりました。今までは、黙って通り過ぎてしまうだけだったのに挨拶に反応してくれた、小さな声でも挨拶を返してくれた、私よりも先に挨拶をしてくれた…そんな変化をととてもうれしく思っています。



性格やその時の精神状態で、いつも元気な挨拶ができるわけではありません。だからこそ、強制ではなく、その子がその子なりに挨拶のよさを感じ取り、挨拶を通して人と心をつないでいく楽しさや喜びを味わっていけるとよいなと思います。

## 本当の勇氣

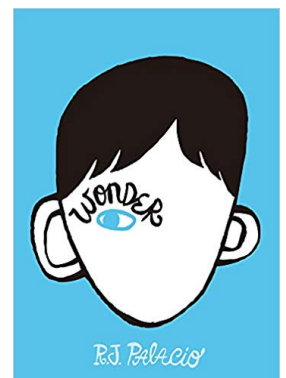


朝、校門の落ち葉掃きをしていると、6年生の女子2名が手伝ってくれました。「うれしいな」と思うと同時に、「勇氣があるなあ」と感じました。高学年になると、自分の行いが周囲にどう思われるか気になることが多くなるでしょう。よいことと思っても、それをすると「先生にほめられようとしている」「いい子ブリッ子している」と思われて、よい行動にブレーキがかかってしまうこともあるのではないかと思います。

1学期、6年生に「ワンダー」という本を紹介しました。物語では、顔に障害を持つ主人公オーガストは、ジュリアンを首謀者としてクラスの大多数の子にいじめられます。しかし、オーガストのよさやジュリアンの間違いに気付いた子達は、いろいろな事件をきっかけにオーガストと心を通わせていきます。ジュリアンが「差別」や「いじめ」をすることに、最初は従っていた周囲の子が徐々に変わっていくのです。

6年生女子のお手伝いがあったのは、「もう一つのワンダー」という本を紹介する日の朝のことでした。6年生女子の勇氣と、ジュリアンに従わなくなった子たちの勇氣が重なりました。そこで、6年生に「本当の勇氣」について自分の考えを話す機会にさせていただいたのです。

よいことをすることも、よくないことを注意することも、よくないことに巻き込まれないようにすることも、人によっては勇氣のいることだと思います。けれども、何がよくて何が悪いか自分で判断し、勇氣をもって正しいと思う行動のできる子になって欲しいと思います。そして、よいことをしようとする子を絶対に中傷しない西の原っ子を育てていきたいと思っています。



# 「夕涼み会」に「ふるさと」を思う

8月25日(土)、今年9年目となる夕涼み会が行われました。以前より子どもたちから夕涼み会を楽しみにしていることを聞いていましたので、私自身もとても楽しみでした。

おやじの会や西の原っ子応援団の方々が、午前中の美化作業の後すぐに夕涼み会の準備に取りかかって下さいました。会場を整え、食材の準備と調理、ゲームの準備など手際よく行っていらっしゃる皆さん。学校はお祭りのにおいと雰囲気がいっぱいになりました。そして、開場時刻の30分以上も前から子どもたちは続々と学校に集まってきました。

飲食に関しては、焼きそば、フランクフルト、焼きトウモロコシ(炭火焼き!)ポップコーン、ドリンク、おにぎり、ワッフル、インスタバエをねらったかき氷などのお店が開かれました。ゲームでは、ラッキーボール、かたぬき、水中コイン落としなどのお店が開かれました。校長(教頭)も「校長(教頭)を探そう」ゲームで子どもたちと触れ合わせて頂きました。

閉会近くなって轟き始めた雷と雲間を縫う閃光に、突然の豪雨が心配されましたが、最後のイベントである花火大会まで滞りなく行うことができました。打ち上げられた花火の口笛のような音、夜空に響く炸裂音とパッと開いて落ちていく光の雫。この花火大会がどんな花火大会にも劣らない価値があることを、沸き上がる子どもたちの歓声が証明してくれたように感じました。



3時間以上650食ほどの焼きそばを焼いたというおやじの会の方。その他の食べ物や飲み物も気の遠くなりそうな数が用意され、次々に注文された方に手渡されていきました。食べ物をほおばって、満面の笑みを浮かべている子どもたち。まさしく、百聞は一見に如かず。子ども達の笑顔とおやじの会・西の原っ子のパワーが溢れた夕涼み会となりました。

この夕涼み会は、「西の原地区は新しくできた街だからこそ、西の原っ子に『ふるさと』として思える何かを残してあげたい」というおやじの会・西の原っ子応援団の方々の思いから立ち上がったと伺っています。学校というコミュニティの場で、保護者OBや保護者の方々と子どもたちが縦と横の糸を繋ぎ広げていっている夕涼み会。それは、子どもたちがいつか帰ってきたいと思う「ふるさと」の原風景の一つになっていくのだなあと感じた夕涼み会でした。

おやじの会の皆様、西の原っ子応援団の皆様、子どもたちのためにたくさんのお力をいただきまして、本当にありがとうございました。



